

専門分野のスキルアップを応援。 国内留学制度「NHOフェローシップ」。

国立病院機構では全国141病院のネットワークを活かし、研修医・専修医の方々のスキルアップを応援する「NHOフェローシップ」を用意しています。短期間で専門ジャンルの知識がしっかり身につく、所属病院では経験できない症例などを幅広く経験できる点が魅力です。国内留学を経験された先生の声をご紹介します。

経験者の声

呼吸器内科研修プログラム

肺がんの標準治療後の「延長戦」を経験。患者さんに提案する選択肢が増えました。

担当しているがん患者の方の標準治療が終了し、次からガイドラインには記載されていない化学療法を行うことになりました。その際に患者さん自身から次のように質問を受けました。

「先生、私の状況は野球でたとえと何回くらいにあたるでしょうか。」

現在、肺がんは、組織型、遺伝子変異、PD-L1などを考慮し、ガイドラインに沿って治療が行われています。しかしながら、そのガイドラインを作っている現場はどのような場所なのか。また、ガイドラインの記載終了後はどう治療しているのか（ガイドラインには緩和治療と記載されていますが、実際にはそうはいきません）という疑問が浮かび上がりました。ガイドラインの「前」と「後」を学ぶことを目標として、9月の1ヶ月間、四国がんセンターでの短期留学を希望しました。

「だいたい7回表くらいでしょうかね。効かなければ9回裏ツーアウトになる可能性もあります。」

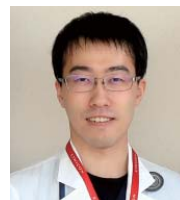
患者さんにそう答えて、研修に臨みました。

四国がんセンターでは、ガイドラインになる前の第1相から第3相の治験が複数課題あり、それを実践している患者さんを経験させてもらうことができました。また、ゲノムエキスパートパネルや、次世代シーケンサーを使用した症例の検討にも参加させていただきました。次世代シーケンサーの結果、遺伝子変異が見つかり、新規の分子標的薬を使用して、半年間、腫瘍縮小が得られている症例を目の当たりにすることができました。標準治療終了後も化学療法をあきらめずにサルベージ療法を行い、奏功した症例も経験し、エビデンスに基づいた具体的なサルベージ療法のレジメンもご指導いただきました。また、緩和ケアへ移行し、緩和ケア病

棟で穏やかに最期を待つ症例まで幅広く経験することができました。

本研修を通して、サルベージ療法が効くという「延長戦」はありえますが、次世代シーケンサーを使用することで、今まででは不可能だった「延長戦」もありうることを経験しました。また、化学療法を提示していくように、緩和ケアへの移行を選択肢の1つとして提案していく姿勢も重要です。患者さんたちに今後、この研修で得られたことを伝えられたらと思います。

当初掲げていた目標以上の成果を得られましたが、それ以上に、常に最先端を走っている先生方とご縁ができたことも貴重な経験でした。ご指導いただいた先生方に感謝すると同時に、今後も交流を続けられたらと切に願っています。



三重中央医療センター 呼吸器内科
西村 正

DATA

留学先病院：四国がんセンター
留 学 日 程：2019年9月1日
～2019年9月30日
留 学 期 間：1ヶ月間

Experience 研修情報紹介

令和元年度「良質な医師を育てる研修」

国立病院機構では、毎年、多彩な内容で「良質な医師を育てる研修」を開催しています。豊富な経験を持つ先生方が講師を担当し、実践的なスキルが身につく充実の内容です。来年度も引き続き、同様の研修が開催される予定です。プログラム内容をご参考の上、是非ご参加ください。

病院勤務医に求められる総合内科診療スキル

対象：初期研修医および後期研修医、卒後10年未満の医師
日時：令和元年6月27日(木)～28日(金)
会場：国立病院機構岡山医療センター
募集定員：30名

■ 研修内容

1日目

アイスブレイク

- 《ステップ1》 発熱で救急外来受診。応答は不明瞭で血圧104/62、脈拍102、呼吸回数20どう行動しますか？
- 《レクチャー》 頭と体を総動員しよう
- 《ステップ2》 緊急入院となりましたが、夜間大声を上げて騒いでいます。どう行動しますか？
- 《レクチャー》 せん妄のマネジメントについて
- 《ステップ3》 菌血症がありそうです。感染巣の検索と治療プランは？
- 《レクチャー》 発熱の臨床推論、熱源検索、抗感染薬選択の原則など
- 《ステップ4》 経口摂取を開始しましたが、誤嚥性肺炎になりました。どう行動しますか？
- 《レクチャー》 嚥下機能評価と誤嚥性肺炎の治療について

2日目

- 《臨床クイズ》 「あなたも Dr.G!」
- 《ステップ5》 患者さんは誤嚥を繰り返しています。肺炎の治療を続けることが本当に患者さんのためになっているのかどうか自信がなくなりました。どのように考えればよいのでしょうか？
- 《レクチャー》 人生の最終段階での意思決定、ACPなど
- 《クイズ》 解決!臨床現場頻出プロブレム-病棟診療のちょっぴり疑問に答える-
- 《ステップ6》 病状は落ち着き退院が決まりそうです。その前に処方を見直すことにしました。どうしますか？
- 《レクチャー》 ポリファーマシーについて

循環器疾患に関する研修

対象：初期研修医、専攻医・専修医1年目程度の医師
日時：令和元年10月3日(木)～4日(金)
会場：国立病院機構岡山医療センター
募集定員：40名

■ 研修内容

1日目

《講義》

- 診察法
- 心電図
- 症例からみた循環器疾患

《Hands on Session①》

- 心エコー実習（心臓・頸動脈など）
- PCI・EVTシミュレーション
- CPA対応実習（BLS）、PCPS、ペースメーカーリード操作

2日目

《講義》

- 心臓エコー
- 心不全・心リハ
- PCIについて

《Hands on Session②》

- 心エコー実習（心臓・頸動脈など）
- PCI・EVTシミュレーション
- CPX、人工呼吸器、NHF体験、CRT

脳卒中関連疾患 診療能力パワーアップセミナー

対象：初期研修医および後期研修医
日時：令和元年11月1日(金)～2日(土)
会場：国立病院機構仙台医療センター
募集定員：30名

■ 研修内容

1日目

《グループワーク》

- ①脳卒中急性期の診療
- ②慢性期症例に対する治療

《デモンストレーション》

- 頸動脈ステント留置術（CAS）ライブ

《パネルディスカッション》

- 「この症例をどうするか」（ミニ解説：NIHSS、ASPECTS、ガイドライン）

2日目

《グループワーク》

- 脳卒中の内科的治療

《実習》

- 脳卒中の血管内治療ハンズオン

《グループワーク》

- NIHSSの取り方のコツ!

《実習》

- 神経超音波検査（頸動脈及び経頭蓋エコー）